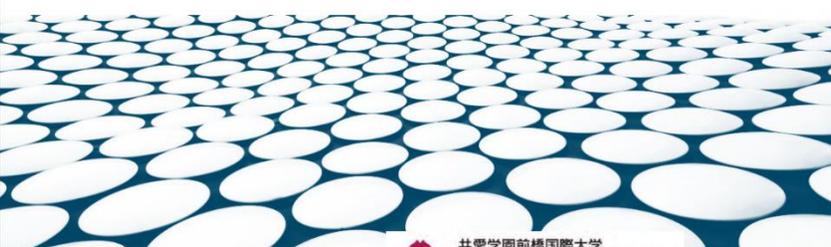


～『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

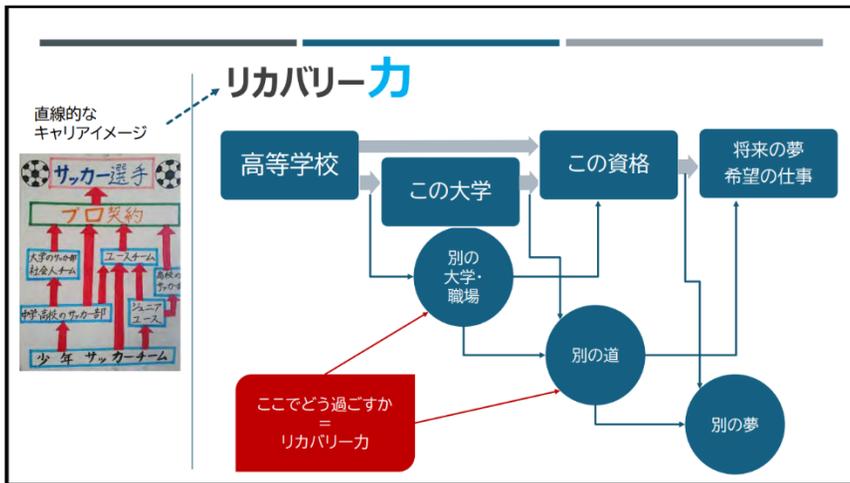
## ★3/13木『第3回SAH講演会』 <群馬経済同友会講師派遣事業>★

## ★あの共愛学園前橋国際大学 大森 昭生学長が前南に！★

予測困難な時代に“生きる”AGENCY  
～私が私を幸せにするための学び～



共愛学園前橋国際大学  
共愛学園前橋国際大学短期大学部  
KYDAI GAKUEN UNIVERSITY / JUNIOR COLLEGE 学長 大森昭生



人が輝くのは・・・  
どこにいるかではなく、  
そこで何をするかによる

卒業の時  
「前橋南高校にいられて良かった！」  
と言っているみんなに会いたいです。



本校生徒に対し、大森学長ご自身の半生を御紹介いただき、自分の当初の意向にそぐわなかった大学や職場に進むことになった際に『リカバリー力』があれば『いくらでも人生をやりなおせる』という御言葉をいただきました！『どこにいるか』は重要ではなく『そこで何をするか』ということが大事であるということでした！この言葉を胸に、勇気をもって大学受験にもチャレンジできると思います！また、本校のグラデュエーション・ポリシーや本校で身につける資質・能力についても御講演の内容に組み入れていただき、本校の取組が、大森先生が策定に御尽力された「群馬教育ビジョン」に基づいたものであることや、「教え育てる教育」から「学び育てる教育」へ移行すべきといった生徒の学びにおける主体性についての考え方もわかりやすく御説明いただき、

生徒主役の SAH 講演会！司会も受付も誘導も、講師の紹介も生徒が行います！途切れない質問！深い質問内容！すべて自分事化です！



本校が進んできた方向は間違っていない！という確信を与えてくださいました。さらには、予測困難な時代だからこそ、「目の前にある諸問題から課題を発見・設定し、解決に向け、知識の集約・融合を通し、自分事化したうえで新しい価値を生み出し社会に変革を与えるイノベーターを目指すべき」といった具体的な御教示をいただき、そのひとつひとつの御言葉が本校生徒へのさらなる刺激となり、また、日々の取組の裏付けや確証となり、この変化に富む時代を生き抜くために必要な考え方の獲得につながったと確信しています。特に「課題設定がイノベーションの源泉である」、「リーダーシップも大切であるが、ファーストフォロワーがリーダーをリーダーたらしめ、その一歩がムーブメントに繋がる」、「学びの成果を可視化するには自分の成長を言語化すべき」、「一歩前に踏み出すマインドをもつ」、「自己超越欲求をもち、みんなを幸せにする協調的幸福感へ」、「答えがないからおもしろい」、「AGENCY を発揮して自分で自分を生きてみましょう」といった多くの御言葉が、各生徒における将来の成長という発芽に繋がる種子となり、生徒の心に深く刻まれたと強く実感しております。今回、御教示くださったことを今後の本校の取組の指針とさせていただきます。大森先生、誠にありがとうございました！今後とも前南をよろしく願います！教頭 星野 亨

たとえ自分が望んだ道や結果を得ることができなくても、そこで新しく興味をもてることを見つけたり、あきらめずに本当に自分が望む道に進むために努力するなどのリカバリー力が大切だと思いました。課題を発見・設定し解決に導いていくためには、課題を自分事化したり、様々な立場や自分とは違った視点をもっている人、多くの知識をもっている人たちと協力し、よりよい解決策を目指し、議論を繰り返すことが必要だと感じました。また、それにはイノベーターが必要であり、イノベーターを支えるフォロワーがいてはじめて、課題解決の道がひらけると感じました。 1年 狩野 花奈

問題解決のためには仲間が必要不可欠であると学びました。リーダーになれるのも周りが自分をリーダーとして認めてくれるからだと気づきました。だから私は周りへの感謝を忘れてはいけなく、自分が応援したい人がリーダーとして存在できるよう支えることも大切だと感じました。1人では社会を変えられないけど、「誰かがやってくれる」の「誰か」に積極的になったり、選挙へ行って政治に参加したりして、予測困難な時代のなかで問題解決に向け動きたいです。 1年 新井 稀唯

今回、大森先生の話聞いて、未来のことを考えるいい機会になった。大森先生がおっしゃっていたように3年前まではChat GPTなんて誰も知らなかったし、そんなものが使えるようになると思わなかった。ということ考えると1年先の未来もわからないと思った。だからこそ、「どんな時代にも使える力」を身につけるべきだと思った。特に自分が今後大切にしていかなければならない。その時々時代の時代に応じて正しい判断をしていくことが大切だと思った。 2年 藏本 悠

今日の講演会を聞くまで、自分の将来はなんとなく、もうルールが敷かれているものだと思っていた。しかし、今日の講演を聞いて、自分の設定する課題や選択によって自分のこれからはいくらか変わってくると知り、一気に視野が広がったような気がした。課題の提示は新たな挑戦への第一歩であるということこれから頭に入れて過ごしていきたい。 2年 湯本 小晴

現代社会は第四次産業革命の最中であり、テクノロジーで仕事が変わっていく。言わば予測不能の時代だ。そんななか、私たちが幸せになる、よりよい社会にするためには Agency を発揮することが必要だ。予測困難な時代に生きているからこそ、Agency を存分に発揮できる機会が沢山ある。せっかくの機会を何もしないまま黙って過ごすのか？いや違う。私たちははじめから持っている Agency を存分に発揮し、今の社会をよりよくするのが私たちの使命だ。今、私たちは認知・非認知能力を高校で身につけ、大学でそれらを思う存分生かし、学び、経験して、社会をよりよくすること、即ち、幸せになることを目標に生活する必要がある。 1年 川上 空

文系科目、理系科目だけを学んで生きていく分業ではもう古く、どちらも融合した知識集約、分野横断、そして1つの問題を解決することに対してたくさんの分野の知識が必要だということがわかりました。「問題」と「課題」それぞれの言葉の意味についてしっかり理解し、自分が今やるべきこと、抱えているものは何なのかを区別してみようと思いました。 1年 井上 真生

今回この講演会を聞いて、自分がこの前南で学んでいることがいかに恵まれているか分かった気がします。しかし、自分はリーダーシップがある方ではないし、自分に自信があるわけでもありません。でも大森先生の話聞いて、勇気をもって一歩踏み出すこと、自分を信じるのが大事なのだとわかりました。自分は前南の一生徒でしかないけど、チャレンジ精神を忘れずに、活躍できる場がいろんな所に提供されているこの前南であと一年を悔いのないよう過ごしていきたいと思いました。自分を自分で輝かせるように努力します。 2年 廣田 梨緒

私はいつだって失敗ばかりで周りの人に迷惑をかけまいと必死に生きています。そんな私に先生は、自分を大切にできなかったら周りの人を大切にできるはずがないとおっしゃいました。まずは自分を幸せに、そして周りを幸せに、例え失敗しても、壁にぶつかっても、それすら楽しんでやろうと思います。先生の言葉でまたひとつ私は強くなりました。今日は本当にありがとうございました。 2年 小此木 いろは

\*生徒の感想文は『抜粋』されています！ご了承ください！

★校長より★ 今回、本当にお忙しい中、本校でご講演をいただいた大森学長先生に深く感謝します。そして、大森先生の講演をしっかり受け止めてくれた生徒の皆さんに感謝します。ものすごく学びの多かった講演でした。「人が輝くのはどこにいるかではなく、そこで何をやるかによる」この言葉は私くらいの年齢でもとても響く言葉です。皆さんには、この先ずっと頭の隅に置いて欲しい言葉です。また、「チームを創ること」の中では、「フォローする人がいて初めてリーダーになる」というお話がありました。一人の男性が踊り出し、それがムーブメントになる動画を用いて説明していただきましたが、あの動画で2番目、3番目に踊り出した人の役割の大きさはとても大きいと思いました。リーダーだけでなく、フォロワーの大切さを強く感じたお話でした。 校長 原 拓史